

## 【今後の方向性】

今後も待機児童を出さないよう、引き続き、放課後の適切な遊びと生活の場の提供に努めます。特に、ハード面は小学校内を基本に空き教室の活用などを検討します。

## 【量の見込みと確保方策】

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
ニーズ量 (低学年)	555人	592人	613人	643人	668人
ニーズ量 (高学年)	71人	77人	81人	130人	135人
合計	626人	669人	694人	773人	803人
提供量	626人	669人	694人	773人	803人
過不足	0人	0人	0人	0人	0人

【量の見込み（学年別内訳）】

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
小学1年生	230人	244人	254人	266人	276人
山手圏域	85人	90人	94人	98人	102人
精道圏域	100人	106人	110人	116人	120人
潮見圏域	45人	48人	50人	52人	54人
小学2年生	174人	187人	193人	203人	210人
山手圏域	64人	69人	71人	75人	78人
精道圏域	76人	81人	84人	88人	91人
潮見圏域	34人	37人	38人	40人	41人
小学3年生	151人	161人	166人	174人	182人
山手圏域	56人	59人	61人	64人	67人
精道圏域	65人	70人	72人	76人	79人
潮見圏域	30人	32人	33人	34人	36人
小学4年生	58人	62人	65人	88人	91人
山手圏域	9人	10人	10人	28人	30人
精道圏域	31人	33人	35人	32人	33人
潮見圏域	18人	19人	20人	28人	28人
小学5年生	11人	12人	13人	34人	35人
山手圏域	2人	2人	2人	13人	13人
精道圏域	6人	6人	7人	16人	17人
潮見圏域	3人	4人	4人	5人	5人
小学6年生	2人	3人	3人	8人	9人
山手圏域	0人	0人	0人	3人	3人
精道圏域	1人	2人	2人	2人	2人
潮見圏域	1人	1人	1人	3人	4人

第1章

第2章

第3章

第4章

第5章

第6章

資料編



(11) 養育支援訪問事業等

乳児家庭全戸訪問事業等で把握した支援を必要とする家庭に対し、保健師等が訪問し、養育に関する相談・支援等を行います。事業が効果的に実施されるように定期的に担当者による連絡会を行い、連携を図っています。

【実施状況】

	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
世 帯 数	1 世帯	0 世帯	1 世帯	1 世帯	1 世帯
訪 問 回 数	1 回	0 回	7 回	18 回	7 回

※ 訪問回数は、年間延べ回数を表記

【今後の方向性】

支援については、職員の相談技術の更なるスキルアップを図り、把握された課題の解決に向けて関係機関の連携を強化し、支援を必要とする家庭に適切なサービスが提供できるよう丁寧に対応していきます。

【量の見込みと確保方策】

	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
推 計 値	6 回	6 回	6 回	100 回	100 回
実 施 体 制 (確保方策)	子育て支援センター（家庭児童相談室）にて実施				

※ 推計値は、年間延べ回数を表記

